

令和4年度視覚障害生活訓練等指導者養成課程(第52期)

要 項 (10月生)

主 催 : 社会福祉法人日本ライトハウス(養成部)
委 託 : 厚生労働省
目 的 : 生活訓練等指導者として必要な知識・指導技術を学習する。
受講コース: 通常コース(2年)
令和4年10月～令和5年9月
分割コース(1年基礎Ⅱ)
1年基礎Ⅱ: 令和4年10月11日(火)～令和5年3月17日(金)

受講定員: 15名程度
受講資格: 1) ①4年生大学卒業(令和3年3月卒業の人を含む)
②短大・専門学校もしくは高校を卒業し、令和3年4月1日において満20歳以上で
所属する視覚障害リハビリテーション関連施設(特別支援学校含む)の長の推
薦を受けられる人
2) 指導の際、対象者及び自らの安全を確保できる人

応募方法: ①～⑥(①～⑤)を用意して、提出先に送付
① 受講願書
② 履 歴 書
・学歴の欄は高等学校卒業から最終学歴まで
・最終学歴は学部・学科も記入
・専攻科目は大学のもので記入
・写真は3ヶ月以内、本人単身、胸から上で**正装**のもの(スナップ写真は不可)
・記入日を記載
③健康診断書
④卒業証明書
⑤応募の動機
受講希望者が応募にいたった経緯と必要性(400字程度のもので、手書きで提出)
⑥所属長の推薦書(所属機関がある人のみ)
受講希望者の人物評価、意欲などを記載(A4サイズで1枚)

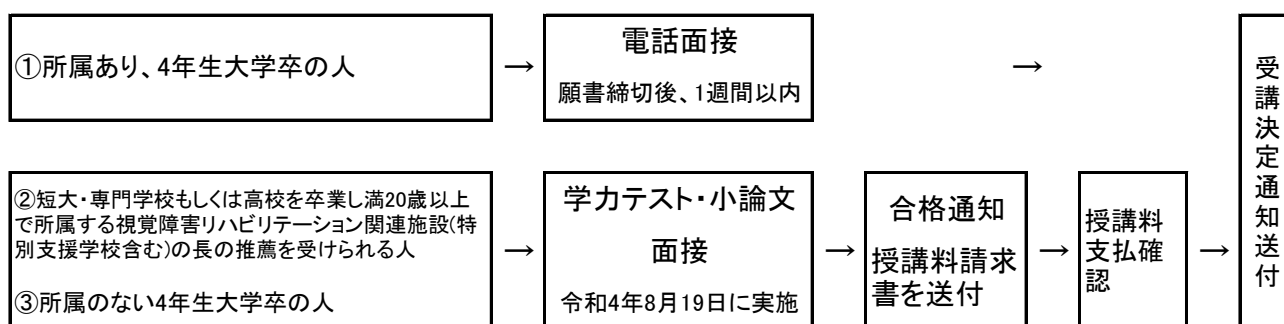
受講費用: 通常コース
1年次: 244,000円
2年次: 274,000円
分割コース
1年基礎Ⅱ: 147,000円
※学習が困難なため、途中で除籍となった場合、授業料は返還できません。

提出先: 社会福祉法人日本ライトハウス養成部(TEL06-6961-5521 FAX06-6968-2059)
※願書提出の際には、送付用の封筒に「指導者養成願書在中」と朱書きし書留速達にてご送付下さい。
提出期限: 令和4年7月29日(金)(必着)まで(電話、FAXによる応募は受け付けません)
※尚、一度提出された願書等は返却できませんので、ご注意下さい。

受講条件と受講コース

受講条件	受講可能なコース
①所属あり、4年生大学卒の人	通年コース・分割コース
②短大・専門学校もしくは高校を卒業し満20歳以上で所属する視覚障害リハビリテーション関連施設(特別支援学校含む)の長の推薦を受けられる人	通年コース・分割コース
③所属のない4年生大学卒の人	通年コースのみ

受講までの流れ



受講までの流れは、応募書類提出後の流れです。

受講条件②、③に該当する人の学カテスト・小論文、面接は令和4年8月19日(金)に行います。

当日の流れは、学カテスト・小論文 10:00～12:00 面接 13:00～15:00 です。

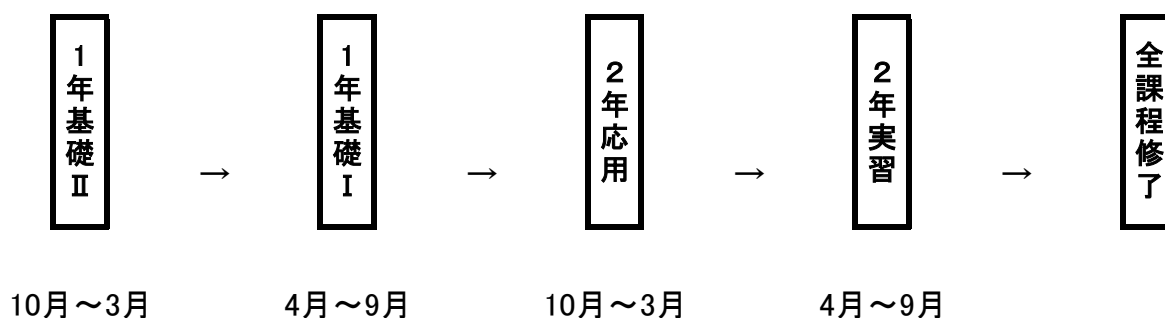
各期の内容について

当養成課程では以下のように2年間で4つの期に分けています。

- 1年基礎Ⅰ：視覚障害リハビリテーションの基礎、生活訓練(歩行訓練)の指導法、実技
- 1年基礎Ⅱ：視覚障害リハビリテーションの基礎、生活訓練(コミュニケーション・日常生活動作・スポーツ・弱視者訓練等)の指導法、実技
- 2年実習：施設実習
- 2年応用：視覚障害リハビリテーションの応用、施設見学・実習

カリキュラムの流れ

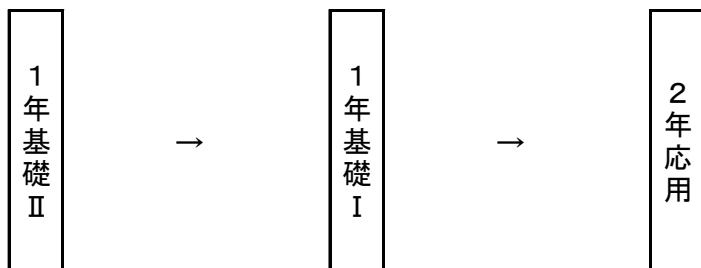
1) 通常コース(2年)



- 2) 分割コース（視覚障害リハビリテーション関係機関の職員の方で施設長の推薦がある方のみ受講可能）
当養成課程では、視覚障害リハビリテーション関連機関の職員で都合により通常コースの受講が困難な人を対象に通常コースを分割して履修することができます。

分割の流れとパターン

- (1) 1年基礎Ⅱ、基礎Ⅰを分割して受講する場合

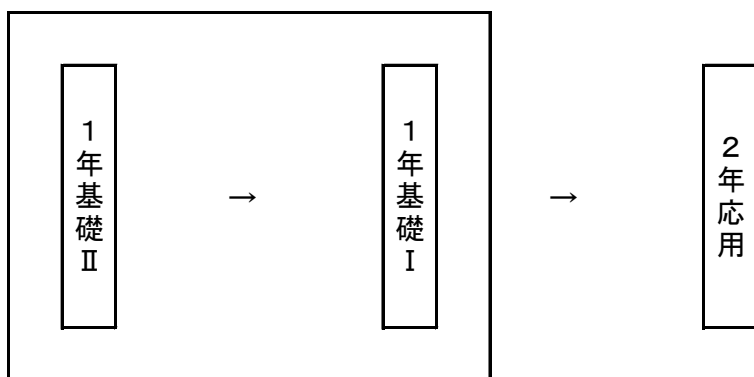


※ 1年基礎Ⅱ、Ⅰの受講を修了して、2年から受講再開した場合、2年実習はありません。

※ 2年応用を通信教育で受講することができます。

1年基礎Ⅰで修了した場合、1年基礎Ⅰの修了証を発行します。ここで、一旦、休講することができます。1年基礎Ⅰを修了した人は、受講再開する時は1年基礎Ⅱから再開します。ただし、受講再開の期限はありません。

- (2) 1年(基礎Ⅱ、基礎Ⅰ)と2年応用を分割して受講する場合



※ 1年基礎Ⅱ、Ⅰの受講を修了して、2年から受講再開した場合、2年実習はありません。

※ 2年応用を通信教育で受講することができます。

1年基礎Ⅱ、Ⅰを修了した場合、1年基礎Ⅱ、1年基礎Ⅰで修了証を発行します。ここで一旦、休講することができます。

1年基礎Ⅱ、Ⅰを修了した人は、2年応用あるいは通信教育から受講再開します。ただし、受講再開の期限はありません。

講義実践科目

	基礎科目	専門科目	実践系科目
1年基礎Ⅰ・Ⅱ	社会福祉論 眼科学 医学・生理学概論 視覚障害児・者教育	視覚障害リハビリテーション論Ⅰ・Ⅱ 生活訓練論 歩行訓練論 弱視者指導論 視覚障害児指導論 歩行環境論 歩行地図論 コミュニケーション訓練論 日常生活動作訓練論 感覚訓練論 高齢視覚障害者リハビリテーション論 盲ろうリハビリテーション概論	歩行実技 基礎実習 施設見学・実習 コミュニケーション実技 日常生活動作実技 スポーツ実技 盲ろう実技
2年実習	施設実習		
2年応用	心理学 運動学 他	視覚障害リハビリテーション論Ⅲ 他	施設見学・実習

※ 2年次には卒業論文作成・発表があります。

受講中の欠席について

受講期間の私用による欠席、所属機関の業務は認められません。原則として全日出席が修了の最低条件です。ただし、病気等の場合は、当方の判断にて修了可能かどうか判断します。